



## CITY WATCHING

### クローズアップ CLOSE UP

#### 食との関係を問い直す

1月17日(火)まで、アーツ前橋では企画展「フーズスケープ 私たちは食べものでできている」を開催中。館内併設のカフェには食べられる作品も登場。「見た目も食感も新鮮でおいしい」と評判です。食べることは生きることの中心。多様な視点で食を考えます。



#### 年末の議場に音楽響く

11月29日から12月15日まで、市議会第4回定例会が開催されました。本会議では補正予算案や条例案などを審議。初日と最終日には議場コンサートが行われました。議場を包んだのはコーラスや吹奏楽などの調べ。出演者に惜しみない拍手が贈られました。



#### 映画などで人権考える

大手町二丁目の群馬会館で、12月11日に人権啓発フェスティバルinぐんまが開催されました。市内で撮影された映画「クラッチヒッターみなみ」は野球をとおり仲間の大切さを伝える作品。上映後の舞台あいさつでは出演者らがそれぞれの思いを語りました。

### いきいき まえばし人

河村 正剛さん・43歳  
家庭環境に恵まれない  
子どもを支援



### 子どもを笑顔に、それが僕の全て

伊達直人の名で届けられたランドセルの贈り物が共感を呼び、前橋から全国に広がったタイガーマスク運動。最初の寄付者である市内在住の河村正剛さんが素顔を公開した。ランドセルを寄付したのは、両親のいない環境で育った自身の経験が元になっている。「なぜランドセルなのか。それは、小学校入学は社会生活の最初のステージが始まる大事な時期だと思うからです。ランドセルがないことで悲しい思いをしてほしくない」子どもの頃の体験が、社会に出てからつながると言う。「親がいないことで起こり得る悪い流れを止めたい。僕

の行動で、世の中には自分を気にしてくれる人がいるんだと、子どもが感じてくれればうれしいです」 「よく、私には何ができませんかと聞かれます。まずは、自分の家族を大切にしてください。そして余裕があれば、近所や友達にも目を向けてみてください。その時々か気付いたら声を掛けてあげてください。このつながりが社会を良くしていくと思っています。僕が名前を公表したことで、行政を交えた支援活動をもっと広めていけたらいいですね」と河村さん。彼の活動が子どもの笑顔を広げていく。



100%生乳で作ったチーズ。ミルクの味を感じて

#### カチョカバロ

自然豊かな赤城山麓の前橋で、生産者が妥協を許さず、手間を惜しまず作った赤城の恵ブランドの認証品。今回は「カチョカバロ」を紹介します。ひょうたん型にして冷蔵庫で約1カ月間つるし、乾燥・熟成させたチーズ。粕川町中之沢の松島さん夫婦が一つ一つ丁寧に手作りしています。松島さん夫婦は、「牛を飼っ

### 赤城の恵ブランド カチョカバロ



問松島農園 ☎027-285-6862

てチーズを作りたい」という夢を叶えるため、2011年に3頭のブラウンスイス牛を飼い始めました。その2年後には「チーズ工房Three Brown」をオープン。チーズ作りに向いているブラウンスイス牛100頭の生乳と塩のみで作られるカチョカバロは、しっかりととしたミルクの味を感じることが出来ます。薄くスライスしてそのまま食べるほか、輪切りにしてフライパンで焼いて食べるのもお勧め。トマト鍋やキムチ鍋のスープにくぐらせて食べるのもおいしいです。